CVSなどで販売されて カゴメといえば、SMや

きるのではないかと考え

だし」や「野菜ジュース_

両沿線の地場野菜を使っ

載。SNS連動企画も実 たナポリタンレシピを掲

いる商品や飲料などを诵

チームのメンバー(写真左から北川成志氏・中野杏梨氏・丹羽大地氏)に、 上への行動変容につなげる取り組みに注力している。今回プロジェクト

鉄道会社とのコラボ企画に至っ た経緯や今後の施策・展望など

カゴメ大阪支店は、

関西の私鉄各社と協同で、生活者の野菜摂取量向

ジェク 払

について 各部署から、有志の若手 貨店事業などを担当する とは異なり、業務用や百 れている部署の通常業務 ロジェクト」は、配属さ 組んでいる「関西私鉄プ 社員で構成されている。 カゴメ大阪支店で取り プロジェクト活動 げることがで な可能性を広

じて生活者の方に認知し くの生活者とのタッチポ と協同で新た は私鉄の利用者が多く、 イントを増やす機会を探 していた。そこで関西で 「駅」という場所や「電車」 て頂いているが、より多

観光誘致に、精進料理に そこで「食」に関連した マという相談を受けた。 少し、観光誘致において 「食」は切り離せないテー

タッチポイントの増加で新たな可能性 理として、当社の「野菜 通じるような健康的な料

リタン」を実施。さらに

味自慢 こだわりのナポ

ゼロに」の目標を掲げ、 野山への鉄道利用が減 となり南海電鉄から高 画の計画が進んでいる。 線住民の生活向上に着目 た。当社は「野菜不足を 在は他の私鉄とも協同企 イベントから始まり、現 た。最初は南海電鉄との し、共感する点が多かっ している。鉄道会社も沿 将来的な健康寿命の延伸 などに繋がる活動に注力 2020年にコロナ禍 -南海電鉄と高野山 変喜ばしい結果となっ を運んでもらえたと、大 う声も多く、外食店から めて高野山へ行ったとい れが来店動機となり、 海難波駅で開催した。こ するリアルイベントを南 リーフレットなどを配布 8店舗9品が掲載された 品と難波駅周辺の外食店 を高野山の麓の7店舗10 案。当社の栄養士が考案 を使用できることを提 も普段来られない方が足 た特別コラボメニュー

でも展開し、地元の食材

繋がった。レシピはSM

者の反響を知ることにも を投稿してもらい、生活 掲載レシピを作った写真 施し、掲載店への来店や

-京阪電鉄へ拡大

介する「京阪・南海沿線 外食店のナポリタンを紹 た。そこで両沿線付近の は厳しい状態が続いてい 続するコロナ禍で外食店 する「ナポリタンスタジ は当社が4年に1度開催 どり」というプロジェク た「京阪・南海ええとこ と相互利用を目的とし トを定期的に実施。21年 アム」の年と重なり、継 南 海電鉄は京阪電鉄

について聞いた。

(聞き手 木下愛子)

菜摂取を呼びかける形式

ルできる機会になったと を多くの生活者にアピー 大変好評となった。

から、生活者の「宣言

―改札前スペースで

く体験!」の一環とし 企画する「親子でわくわ 22年夏は、南海電鉄が

野菜目標宣言 ど、それぞれの「宣言 る!」「野菜大好き」な 「野菜をもっと沢山食べ があった。内容を見ると

て「駅d野菜をとろう! ~夏の野菜フェスティバ 量を数値化する「ベジ 前で開催した。野菜摂取 ル〜」を南海難波駅改札

ベジチェック を生活者に書 する「宣言」 は、野菜に関 とで、今まで いてもらうこ

トの苗木とトマト型の短 ポン」を実施。またトマ の野菜量を測る「目方で チェック」や、350g

は当社から野

冊を用意し た。短冊に に思う。また「トマトの ものにならず、今後の生 接聞く貴重な機会となっ 交っていたことも喜ばし でトマトを育ててみよう 苗木を初めて見た」「家 活に取り入れてもらいた た。イベントが一過性な か」という会話が飛び 生活者の生の声を直

Fイベント 京阪百貨店でPB

の取り組みを強化する中 ベースフード)のイベン で、PBF(プラント 京阪百貨店はSDGs

第一歩につなげたい想い を引き出し、行動変容の 意識付けにも 繋がったよう が野菜摂取の トマトの苗木と目標宣言の短冊 いる。関西・大阪万博へ 嬉しいという声が届いて 通じて、体質的に肉類が 認知度拡大に注力してい 向けて、より多くの方の 食べられない方たちから 感じている。イベントを まだ不十分で、知りたく を発信した。 P B F は関 野菜の魅力や野菜レシピ 菜をおいしくたのしく、 ベントセミナーでは、 トを協同で開催した。 情報発信を強化し更なる もらえるようラインアッ 生活に自然に取り入れて ても知る機会が少ないと 西圏での情報発信がまだ フの拡充や、売り場での 食の選択肢が増えて

関西を |オムライ

ていきたい。 もの頃から野菜摂取の大 る。今後も楽しいイベン 同企画を現在計画してい タジアム」の開催年とな ス」色に る企画を継続的に展開し 不足をゼロに」へつなが どを伝え、楽しく「野菜 切さ、野菜のおいしさな ムライス」に関連した協 るため、他の私鉄とも「オ トや企画を通じて、子ど 23年は「オムライスス